



学校だより

はくれい

白山市立白嶺小学校
白山市立白嶺中学校
第12号
令和6年12月23日



中学生が特別出演でジオ学を発表！～会場からは絶賛の声、響く～

今年から市内の小学生が白山手取川ジオパーク学習の成果を発表し合うことになりました。発表会は2日間に分けて開催され、1日ごとに市内全小学生の半分が集まり、集まった中の半分の学校が今年、ステージ発表しました。残り半分は来年発表します。今年の白嶺小学校は観て聴く番で、発表は来年のお楽しみです。



ある時、白山市教育委員会から依頼がありました。「市内中学校の中で最も白山手取川ジオパーク学習が進んでいる白嶺中学校の生徒さんに、モデル発表してもらえないか。」自分で課題を見つけて、自分たちで正解のない答えを探し求めていく学習がこれからは必要とされるが、既にそういう基盤ができていく白嶺中学校の生徒たちから、市内小学生に向けてお手本を見せてくれないかと依頼されたのです。

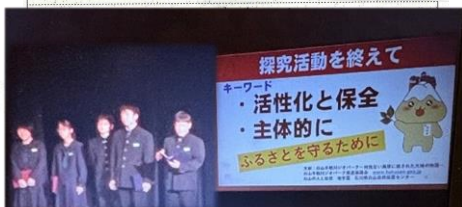
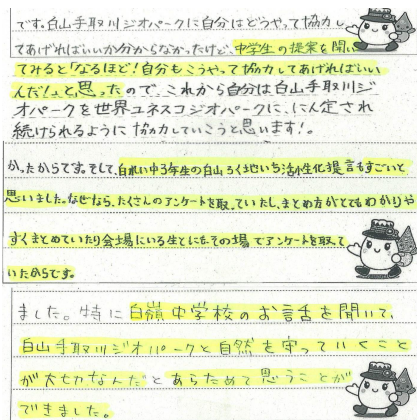
先生方に相談し、生徒に打診したところ、快く引き受けてくれました。「さすがだ」と、思いました。日頃から、自分で深く考えたことを友達と議論し、高め合って発信することを目標に学習し、その成果は白嶺祭でも実証済みです。そういう依頼は絶好のチャンスと捉えて、前向きに3年生の代表生徒が発表の準備に取りかかってくれました。

「発表のネタはある。しかし、当日伝える相手は小学生だ。この内容で、このセリフで、この話し方で伝わるだろうか。」そう言いながら何度も練習を重ね、資料を練り直し、当日を迎えました。

小学生の発表が全て終わり、大トリで白嶺中3年生代表がステージに上がります。クイズを交え、会場に問いかけながら、白山手取川ジオパークの魅力を伝え、今後に向けた提案も行いました。小学生は皆、前のめりの姿勢で食い入るように発表を聴いていました。小学生を引率したいろいろな学校の先生や市議会議員、教育委員会の大人たちは、様々なデータに基づいた白嶺っ子の考えの確かさに誰もが感嘆しました。発表は大成功でした。

中には、「こんな素晴らしい発表内容は聴いたことがない。あの発表資料を貰えないか。」と頼み込んでくる人もいたほどでした。会場で聴いた小学生の感想の一部を紹介します。

また、発表のスライドは、中央階段に掲示してあります。ぜひ、見てください。



- ・白山手取川ジオパークに自分はどうやって協力してあげればいいのか分からなかったけど、中学生の提案を聞いてみると「なるほど！自分もこうやって協力してあげればいいんだ！」と思った。
- ・白嶺中3年生の白山ろく地いき活性化提言もすごいと思いました。なぜなら、たくさんのアンケートを取っていたし、まとめ方がとてもわかりやすくまとめていたり会場にいる生にも、その場でアンケートを取っていたりしたからです。
- ・白嶺中学校のお話を聞いて、白山手取川ジオパークと自然を守っていくことが大切なんだとあらためて思うことができました。
- ・白嶺中学校はどんなことをするかなどがはっきりまとめていてすごいと思いました。言うことが本みたい(なもの)に書いてあって、いっぱい言っていてすごいと思いました。ぼくも大きくなったらあんな発表をしてみたいなと思いました。



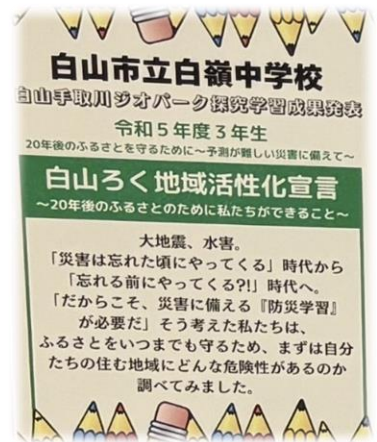
白山市立松任図書館の企画展示 もご覧ください【1月19日(日)まで】



1月19日(日)まで、昨年の3年生が白嶺祭で発表した資料や昨年の第10回ライン賞で最優秀賞に選ばれたレポートが白山市立松任図書館で企画展示されています。

白嶺祭で発表した当時の映像も流れています。こうした映像による展示は松任図書館では今回が初めての試みだそうです。

併せて是非ご覧ください。



中学3年生は鳥越中との交流 をしました！



いよいよ進路選択の時期です。小学生の頃から交流のある鳥越中の生徒とバレーボールと一緒に汗を流しながらエール交換しました。

ともがんばろう！！



中学2年生は立志式を催して いただきました



立志式は、数えて15歳(現代の14歳)になることを祝い、将来への決意を明らかにし、大人になる自覚を持つための儀式のことを言います。この節目を迎えられたこと、式を催していただけたことに対して、ご家族や先生、関係の方々へ感謝しましょう。そして、将来への志を立て、大人への自覚を新たにしましょう。



小学生はお話しボランティアの方々に感謝のメッセージカードを贈りました！

毎回、素敵な本を読んでくださったお話しボランティアの松田さん、吉峯さん、千徳さんに感謝の気持ちを込めてメッセージカードを贈りました。皆さん、心のこもったカードをながめながら、とても喜んでいらっしゃいました。

